



かどま社協だより

第60号

平成29年2月1日
発行

社会福祉法人
門真市社会福祉協議会
〒571-0064
門真市御堂町14-1
TEL 06(6902) 6453
FAX 06(6904) 1456

「赤い羽根」共同募金運動 ～門真のまちを良くするしくみ～

平成28年度「赤い羽根」 共同募金運動各種報告

皆さんに支えられて
70年

◆募金総額報告

平成28年度も10月1日から12月31日にかけて「赤い羽根」共同募金運動を実施いたしました。

自治会を中心とした市民の皆さまをはじめ、法人・各種団体などのあたたかいご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。

平成28年度共同募金 門真地区募金会実績額

合計 3,877,524円

<募金種類ごとの内訳>

戸別募金	3,384,601円	街頭募金	76,207円
職域・法人募金	98,216円	バッジ・その他募金	318,500円

◆活動報告

1. 門真市ボランティアフェスティバル

ボランティアフェスティバルは市内で活動しているボランティア団体や各機関が地域の輪を広げていくことを目的に開催しています。

5月29日に門真地区募金会として、初めてブースを設置し『かどまにあったらいいな』を皆さんに書いていただきました。

また、募金方法や使用用途などの紹介を行いました。



町をキレイにしてほしい、遊ぶ場所がほしい等多くのご意見をいただきました！

2. 弁天池公園ふれあい感謝祭

11月23日に弁天池公園にてふれあい感謝祭が開催されました。

門真地区募金会では、風船や妖怪ウォッチの募金箱といった啓発グッズの配布や街頭募金活動を行い、29,480円のご寄附をいただきました。

ご協力ありがとうございました。



市民の方々との交流を実感でき、充実した活動となりました！

共同募金は、戦後間もない時期に「国民たすけあい運動」として戦災孤児などの支援として始まりました。以降、その時代のニーズに合わせ、多様な地域福祉活動を支えています。

地域の方々のお力添えがあり、平成28年度で運動は70年を迎えることができました。

今後も皆さんのご協力とご支援をよろしくお願いします。

<募金から配分までのしくみ>



共同募金運動

戸別募金・法人募金・バッジ募金・街頭募金・職域募金 など

門真地区募金会(門真市社会福祉協議会)で集めて大阪府共同募金会へ納入



審査して活用先を決定し、配分

門真市内の配分

門真市社会福祉協議会へ配分され、次年度の地域福祉活動に活用されます。

大阪府内全体での配分

府内の社会福祉施設や社会福祉団体などへ配分されます。

<街頭募金奉仕団体への表彰>

平成28年11月16日に大阪府社会福祉大会が行われました。その際に共同募金運動70年記念として、門真市内の共同募金運動に長年ご尽力をいただいている街頭募金奉仕団体へ感謝状の贈呈が行われました。

門真市内の該当団体として、「門真市民生委員児童委員協議会」と「門真ボーイスカウト協議会」が選ばされました。



■門真市民生委員児童委員協議会



■門真ボーイスカウト協議会

両団体ともに、20年以上継続して街頭募金活動にご理解いただき、門真市内の地域福祉の推進と発展に大きくご尽力いただきました。心から深く感謝申し上げます。

「よりよいかどま」にするために、今後ともよろしくお願いします。

この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金を受け発行・配布いたしました。

日常生活自立支援事業

この事業では、福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理をお手伝いすることで、住み慣れた場所で安心して生活していただけるようサポートします。相談は無料です。

詳しくは本会までお問い合わせください。

☆★対象となる方★☆

(下記のすべてに該当する方)

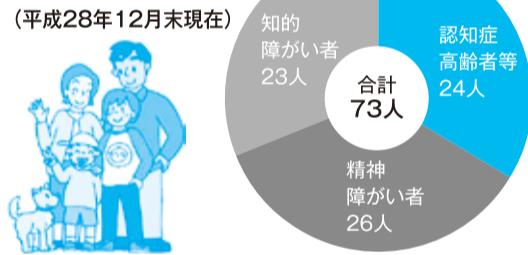
- 門真市内にお住まいの方
- 物忘れが多くなった高齢者や知的障がい・精神障がいをお持ちの方で、日常生活を営むにおいて判断能力が不十分な方(身体的な理由のみで、入出金や支払等を行うことが出来ない方については対象となりません)
- 近くに身寄りがない方
- 契約時において、本人がサービスの利用を希望し、その意思が確認できる方

☆★サービスの内容★☆

福祉サービスの利用援助
福祉サービスに関する情報の提供や、サービスを受けるにあたっての手続きなどを援助します。
日常の金銭管理サービス
医療費や福祉サービスの利用料、家賃や公共料金等の支払いを代行します。また、必要な生活費を定期的にご自宅までお届けします。
通帳・書類等の預かりサービス
保管を希望される重要な書類等を本会が契約する金融機関の貸金庫にて保管します。 例)預金通帳、年金証書、印鑑など

※サービスのご利用にあたり、所得の状況に応じて年会費およびサービス利用料が必要となります。
・年会費(1,000~5,000円)
・金銭管理サービス利用料(1回につき0~1,000円)
・貸金庫利用料(1ヶ月あたり200円)

■契約者数 (平成28年12月末現在)



認知症予防リーダー入門講座

認知症予防リーダーって?

認知症予防ゲームを活用し、地域での認知症予防に取り組むリーダーです。住民が集まる場やサロン活動など、様々な地域の活動に活用できます。ゲームのやり方だけでなく、認知症予防についての知識や場の作り方などについても学べます。ぜひご参加ください。

平成28年度講座日程

日 時	内 容
1 2月21日(火)	・認知症予防について
2 3月2日(木)	・認知症予防ゲームの効果について
3 3月7日(火)	・認知症予防ゲームのやり方
4 3月9日(木)	・認知症予防教室の実践方法 など

場 所: 門真市保健福祉センター（住所：門真市御堂町14番1号）
対 象: 門真市在住・在勤の人で、地域のサロン活動や地域住民が対象となる活動などの地域活動に携わっている方
募集人数: 20名（先着順）
講 師: NPO法人 認知症予防ネット
申込期間: 平成29年2月1日(水)～17日(金)
申込・問合せ: 社会福祉法人 門真市社会福祉協議会 ボランティアセンター（電話番号：06-6902-6453）
主 催: 社会福祉法人 門真市社会福祉協議会

平成29年度 組織構成会員の 加入のお願い

団体の
皆さまへ



組織構成会員として加入いただきますと、それまでの立場を5つの領域にわけ、各領域より評議員を選出し、協議の運営に主体的に関わっていただきます。（年会費は□3,000円です。）

本会では、平成29年1月現在、組織構成会員として69団体の方々が加入されています。されますが、より層のご加入をお願いいたします。

社協は「地域福祉を推進する中心的団体」と位置づけられ、市内の社会福祉事業を経営する方や活動を行なう方の参加が定められています。

平成28年度社会福祉法人門真市社会福祉協議会 組織構成会員一覧

領域I: 住民代表的な性格のつよいもの	社会福祉法人イースト・ロード福祉会 特別養護老人ホームはるかの郷	NPO法人車椅子レクダンス普及会門真支部 手話グループ ひまわり
門真市自治連合会	社会福祉法人三養福祉会	NPO法人SA門真の会
門真市赤十字奉仕団	社会福祉法人晋栄福祉会	民舞 龍秋会
国際ソロプロミスト大阪 - 門真	ナーシングホーム智鳥	特定非営利活動法人 ナルク門真
一般社団法人 守口門真青年会議所	社会福祉法人スリーヴィレッジ	朗読ボランティアグループゆりかご
守口門真商工会議所	特別養護老人ホームつくしの里	傾聴ボランティアグループこころの耳会
門真市消防団	<民間保育園>	<特定非営利活動法人>
<校区福祉委員会>	社会福祉法人晋栄福祉会 智鳥保育園	特定非営利活動法人 ぶどうの木
脇田校区福祉委員会	社会福祉法人向日葵福祉会	特定非営利活動法人 ひかり
大和田校区福祉委員会	社会福祉法人 小百合苑	特定非営利活動法人 なごみ広場
上野口校区福祉委員会	社会福祉法人友愛福祉会 おおわだ保育園	領域II: 当事者団体的性格のつよいもの
東校区福祉委員会	社会福祉法人まこと鳴滝会 まこと小路保育園	門真市身体障害者福祉会
四宮校区福祉委員会	社会福祉法人めぐみ保育園	門真市遺族会
門真校区福祉委員会	社会福祉法人雅福祉会 うちこし保育園	門真市老人クラブ連合会
古川橋校区福祉委員会	<障害者援護施設・障害者福祉作業所>	門真市介護者（家族）の会
五月田校区福祉委員会	社会福祉法人門真共生福祉会	門真市母子寡婦福祉会
速見校区福祉委員会	知的障害者通所更生施設ジェイ・エステージ	特定非営利活動法人 門真市手をつなぐ育成会
二島校区福祉委員会	社会福祉法人恵光美会 仲間の家だけのこ	領域III: 関連団体
みらい第1校区校区福祉委員会	社会福祉法人蓮根会 障セ・ウィタン	門真市人権協会
みらい第2校区校区福祉委員会	社会福祉法人つばき会	門真市企業人権推進連絡会
沖校区福祉委員会	就労継続支援（B型）事業所ホワイトハウス	一般社団法人 門真市医師会
北巣本校区福祉委員会	<ボランティアグループ>	一般社団法人 門真市歯科医師会
砂子校区福祉委員会	ポプラの会	門真市薬剤師会
領域II: 福祉専門機関・団体的性格のつよいもの	みどり会	門真市献血推進協議会
門真市民生委員児童委員協議会	点訳サークル「さつき」	(順不同) 平成29年1月11日現在
公益社団法人 門真市シルバー人材センター	音訳ボランティア アクセント	
門真地区保護司会	かどま子ども家庭サポーターの会	
<介護保険事業所>	門真市筆記通訳グループ「たんぽぽ」	
社会福祉法人ロータス福祉会	手話サークル「くすの木」	
特別養護老人ホーム門真荘		

認知症予防リーダー入門講座

受講生募集!!

認知症予防リーダーって?
認知症予防ゲームを活用し、地域での認知症予防に取り組むリーダーです。住民が集まる場やサロン活動など、様々な地域の活動に活用できます。ゲームのやり方だけでなく、認知症予防についての知識や場の作り方などについても学べます。ぜひご参加ください。

平成28年度講座日程

日 時	内 容
1 2月21日(火)	・認知症予防について
2 3月2日(木)	・認知症予防ゲームの効果について
3 3月7日(火)	・認知症予防ゲームのやり方
4 3月9日(木)	・認知症予防教室の実践方法 など

場 所: 門真市保健福祉センター（住所：門真市御堂町14番1号）
対 象: 門真市在住・在勤の人で、地域のサロン活動や地域住民が対象となる活動などの地域活動に携わっている方
募集人数: 20名（先着順）
講 師: NPO法人 認知症予防ネット
申込期間: 平成29年2月1日(水)～17日(金)
申込・問合せ: 社会福祉法人 門真市社会福祉協議会 ボランティアセンター（電話番号：06-6902-6453）
主 催: 社会福祉法人 門真市社会福祉協議会

「就労準備支援事業」の ながれ

①まずは相談窓口へ。相談員に生活の状況や仕事に関する困りごとをお話しください。



②あなただけの支援プランと一緒に作ります。



③相談員が就労に関するサポートを行います。

就労サポート支援内容

- ・相談員による個別カウンセリング
- ・ハローワークや企業面接への同行支援
- ・職場体験等の情報提供
- ・履歴書の書き方や面接の受け方のアドバイス
- ・各個人に合った求人情報提供
- ・就職後の職場定着支援 など

自立相談支援事業とは生活に困りごとや不安を抱えている方に對し、本人の主体性を尊重し、問題解決に向けたプランをともに考え、様々な制度や事業、地域にあり資源などを活用しながら自立に向けた支援を行なうものです。本会ではモデル期間も含めています。

支援メニューに加わった「就労準備支援事業」についてご説明いたします。
(就労準備支援事業は門真市からラテンスタッフキャリアコンサルティング株式会社が受託して

います) し支援をスタートさせています。利用には資産や収入等の要件があり、証明できる書類の提出が必要です。また、生活保護を受けている方は対象となりません。詳しく述べください。詳しくは本会までお問い合わせください。

生活困窮者自立相談支援事業

これが小地域ネットワーク活動です!

グループ援助活動

いきいきサロン、子育てサロン、ふれあい食事サービス、世代間交流



◆沖校区

(地域高齢者交流サロン)



◆みらい第2校区

(西小路自治会館)



毎月第2水曜日の70歳以上高齢者の集いでは、参加者に手作りの料理を振る舞って、カラオケや会話をしながら楽しんでいます。



毎年12月に、ひとり暮らし高齢者の集いを開催しています。食事の後は手品等を楽しみゲームや歌をうたって親睦を深めています。



◆五月田校区

(西打越自治会館)



◆北東本校区

(上島町公民館)



第3土曜日は手芸、第2・4土曜日は体操を実施しています。毎回盛り上がっています。地域の交流の輪が広がればと思います。



毎週金曜日に呼吸法を用いて体操を行っています。大きな掛け声で体を動かすことでストレスの解消にも役立っています。



[活動内容]

社会福祉施設への訪問やボランティアフェスティバルに参加し、舞踊を披露されています。

大阪府社会福祉ボランティア 知事表彰

11月16日に大阪国際交流センターにて開催。大阪府社会福祉協議会主催。



■松下 憲さん 全国社会福祉協議会会長表彰 (社協功労表彰)

平成5年から本会の評議員や理事を歴任されています。また、地域では五月田校区福祉委員長として福祉活動に励まれています。

平成28年度全国社会福祉大会

11月11日に東京都のメルパルクホールにて開催。全国社会福祉協議会主催。



[活動内容]

いきいきサロンでは、年齢や障がいの有無に関わらず楽しむことができるディスクを実施されています。また、食事会や健康体操なども頻繁に行われています。

四宮校区福祉委員会



古川橋校区福祉委員会 (地区福祉委員会)

子育てサロンでは、手作りの遊具を用いての遊びを実施されています。また、年に2回開催されるひとり暮らしのお年寄りのつどいでは、食事会やビンゴゲームも行われています。

問真で頑張つて表彰されました!

小地域ネットワーク活動とは…

校区福祉委員会が実施しています。グループ援助活動と個別援助活動にわかれています。

個別援助活動

見守り声かけ訪問

地域の人に インタビュー



畠 智恵子さん
(二島校区福祉委員)

見守り声かけ訪問は、校区福祉委員が高齢者宅へ訪問し、その方の安否確認を行う活動です。今回は地域で積極的に活動されている方にお話を伺いました。

◆活動について◆

ひとり暮らし高齢者宅へ月に1~2回訪問し、「体調面」や「困りごと」を尋ねています。また新聞のたまり具合など、家の様子に変化が起きていないか確認しています。留守の際は、手作りの訪問カードを家に投函し、いつ訪問したのかわかるようにしています。

◆印象に残っていること◆

地域ぐるみで認知症の女性を見守っていることです。その方は他市から引っ越ししてきたばかりで、周囲との関わりがありました。徘徊をくり返し多方面に迷惑をかけていたため、私は近所の方に声かけやゴミ出しの協力をお願いしました。今では近所や関係機関とのつながりもでき、みんなで連携しながら見守っています。その方と地域をつなぐパイプ役になれたと思います。

◆心がけていること◆

「和顔愛語」ですね。おだやかな笑顔と思いやりのある話しかで人に接することを心がけています。そのためにも日々「聞く耳、見る目、伝える口をもつこと」を意識しています。

◆今後の目標◆

見守りの場を広げていきたいです。私は現在、いきいきサロンを不定期で開催しています。

実際にサロンに来てもらうことで話し相手が増え、顔が見える関係作りができると思います。これからも皆さんのが孤立することなく、安心して生活できるように努めたいですね。